

# 令和2年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～					
	施策	20 循環型社会 ー資源循環型社会の構築を一層進めますー					
重点プロジェクト							
主管課	市民活動推進部 環境課					評価責任者	本橋 直人
						評価日	令和3年5月31日
関連課							
目標							
3R行動の更なる浸透により、ごみの排出量を削減し、資源の有効利用を図ります。また、環境センターを環境教育の拠点として、エネルギーや自然環境などを含めた市民の環境意識を高め、エコライフスタイルの定着につなげます。							
施策目標の実現に向けた取組							
(1) 廃棄物の減量化・再資源化の推進 ○環境教育の情報・活動拠点として環境センターを活用し、市民の環境意識を高めます。 ○廃棄物の発生抑制と減量化に向けた啓発活動を実施します。 ○「もやさないごみ」として排出される使用済小型家電を選別し、レアメタルをリサイクルするなど、限りある資源の有効利用を進めます。 (2) 廃棄物の適正処理の推進 ○循環型社会に適したごみ処理システムの構築を行います。 ○事業系一般廃棄物は、事業者責任の原則を踏まえ、排出抑制、分別の徹底、リサイクル化への取組などを事業者にかかれます。 ○最終処分場の適正な管理を行います。							

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（廃棄量）					
		説明	家庭系ごみの排出量（廃棄量）／人口／365日					
		単位	g					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	594.60	592.00	589.00	587.00	585.00	580.00
		実績値	590.00	601.00	606.00			
	指標 2	指標名	リサイクル率					
		説明	総資源化量／総ごみ排出量 ※焼却灰リサイクル除く					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	23.50	24.10	24.60	25.20	25.80	26.40
		実績値	21.60	21.20	22.40			
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	1,569,088	1,644,742	1,675,910	1,727,926		
	人件費	85,896	101,473	86,532	97,780		
収入	特定財源	468,697	493,816	546,996	548,919		
	一般財源	1,186,287	1,252,399	1,215,446	1,276,787		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	廃棄量の減量化	小学4年生への環境センター見学会、小学校への出前講座、環境学習講座を実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による3Rの啓発を図った。	環境センター見学会 小学4年生3校 出前講座 小学校1校 環境講座の実施 15回 1人1日当たりの家庭系ごみの排出量 平成30年度591g→令和2年度606g	3R推進事業
取組②	廃棄物の再資源化	小学4年生への環境センター見学会、小学校への出前講座、環境学習講座を実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による3Rの啓発を図った。	環境センター見学会 小学4年生3校 出前講座 小学校1校 環境講座の実施 15回 リサイクル率 平成30年度21.6%→令和2年度22.4%	3R推進事業
取組③	事業系一般廃棄物対策	事業系ごみ手数料を100円/10kgから220円/10kgに改正を行った。 適正な排出が行われているか確認するため、月1回事業系ごみの展開検査を実施した。	事業系ごみ排出量 令和元年度:7,148.7t 令和2年度:6,429.1t 対前年比約90%と事業系ごみの削減を行うことができたが、要因が手数料改定によるものなのか、新型コロナウイルスによるものなのか精査が必要である。	3R推進事業
取組④	最終処分場適正管理	最終処分場の適正管理のため月1回最終処分場及び周辺の水質検査を行った。	検査項目は全て基準をクリアし、適正に管理ができています。	3R推進事業
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	一般廃棄物処理基本計画の4つの基本方針「市民・事業者・市による、排出抑制を中心とした3Rを推進」「環境教育と環境学習の実施」「ものを大切にするための仕組みづくり」「自然環境に配慮した循環型社会をつくるための意識づくりと行動」に基づき、エコラポフェスタや環境学習講座等により、市民や事業者に対し3Rの推進を図った。しかし、ごみ量は全体的に増加する結果となり、これは新型コロナウイルスによる在宅時間の増大による影響が主な原因であると考えられる。リサイクル率は前年度より改善傾向にある。 平成26年度から平成30年度まで5年連続で達成している1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が少ない市埼玉県内1位を今後も引続き達成するために、3Rの推進を図り「日本一ごみの少ない美しいまち」を目指す。
順調でない	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		3 R 推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	20 循環型社会 ー資源循環型社会の構築を一層進めますー			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成25年～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例及び施行規則、ふじみ野市集団資源回収事業報奨金交付要綱、ふじみ野市生ごみ処理容器設置推進事業実施要綱等			
事務事業の内容	事務事業の目的	ごみの排出量及び焼却ごみ量の減少、リサイクル率の向上を目標として、3 Rの推進を着実に実行し循環型社会の構築を目指す。一般廃棄物処理基本計画（第3期）に掲げた「みんなで育てる 日本一ごみの少ない美しいまち ふじみ野市」を目指す。			
	事務事業の経緯	ごみ減量化事業、分別推進事業、集団資源回収事業、生ごみ処理容器促進事業、家具等リサイクル推進事業及びごみ・不法投棄苦情等処理事務を平成25年度に統合し「3 R推進事業」とした。			
	事務事業の概要	①3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進を図る。 ②市内小学4年生に対して環境センター見学会を実施する。 ③土曜日や夏休みを中心に3 R、自然環境等の様々な環境学習講座を実施する。 ④小学校、自治会等に対して出前講座を実施する。 ⑤生ごみ処理容器ペランダdeキエーロの普及に努める。 ⑥集団資源回収の推進を図る。 ⑦一般廃棄物（ごみ）、集積所に関する相談に対応する。			
	令和2年度の主な取組	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行い、市内小学4年生に対する環境センター見学会、環境学習館えこらぼでの環境学習講座を実施した。4月1日から粗大ごみの一部有料化が開始となり、その電話受付や粗大ごみ処理手数料納付券の発行事務を行った。また、開始当初は、納付券が貼付されていない有料の粗大ごみの排出状況を確認するため、資源物持ち去り防止を兼ねたパトロールを行った。近年、戸建住宅や集合住宅の建築後に当該住居者が出すごみの集積所が不明・不確定等によるトラブルが多発していることから公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会あて注意喚起の依頼をした。また、同内容を市HPに掲載したり、市関係窓口（都市政策部）にチラシを置くなど周知に努めた。市HPのごみ関連ページ、一般廃棄物処理業許可申請に係る様式、集団資源回収の手引きを見直した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	5.80	5.90	5.90
		人件費	46,273	47,537	47,537
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.66	0.44	0.42
	人件費	1,010	1,066	803	
人件費計		47,283	48,603	48,340	
事業費	報酬※	0	840	1,237	
	賃金※	1,001	0	0	
	需用費	9,052	7,015	7,084	
	委託料	3,842	51	8,830	
	使用料及び賃借料	568	660	1,195	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	35	523	464	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	2,220	2,037	3,141		
支出合計		62,990	58,662	69,488	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	15	0	40
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	7,071	0	0
		その他	210	0	512
一般財源		55,694	58,662	68,936	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		487	505	602	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	環境学習講座参加者数		
	説明	平成28年10月31日のふじみ野市・三芳町環境センターの稼働に合わせて環境学習講座を開始した。講座開催日は、土曜日及び夏休みを中心として実施する。目標値は、第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略施策13に基づき講座に参加した人数（大人、子どもとその保護者）とする。 ※指標は令和2年度から設定		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	1,000	1,000
	実績値	952	275	
指標	指標名	1人1日当たりの生活系ごみの排出量		
	説明	目標値は、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第3期）資料編P20表1-7区分5「家庭系1人1日平均排出量」の数値を採用している。※小数点第1位四捨五入 ※生活系ごみの排出量／人口／365日 ※「生活系ごみ」とは、生活から出されるごみ（資源化されるごみを含む）のこと。		
成果	単位	g		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	592	589	587
	実績値	601	606	
指標	指標名	リサイクル率		
	説明	総資源化量（資源化量＋集団資源回収量）／総ごみ排出量＋集団資源回収量 目標値の算出に当たっては、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第3期）資料編の数値を採用している。※「資源化量」はP21表1-8区分122、「集団資源回収量」及び「総ごみ排出量」はP20表1-7区分11と区分2の数値を採用している。※当指標は、焼却灰・飛灰のセメント原料化量含む。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	24.10	30.20	30.70
	実績値	21.20	22.40	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	( ) カッコ内は前回数値
	<p>1 ふじみ野市・三芳町環境センター見学会は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）の影響により参加学校が激減した。環境学習講座は、コロナ対策のため例年より募集員数を減らして実施した。</p> <p>(1) ふじみ野市・三芳町環境センター見学会 参加人数 321人 (1,084人) 福岡小学校、上野台小学校、亀久保小学校の小学4年生</p> <p>(2) 環境学習講座 参加人数 275人 (952人) 実施回数：13回 (30回)</p> <p>(3) 出前講座 1回 西小学校 地球温暖化及び海洋プラスチックごみ問題について (5回)</p> <p>2 生ごみ処理容器ペランダ de キーロの普及のため、減量をすすめる会と協働で販売促進会を実施した。購入者に対するアフターフォローをどのように行うかが課題である。</p> <p>(1) 頒布実績 通常15基 (10基) 小型38基 (14基) 計53基 (24基)</p> <p>(2) 販売促進活動 (キーロ相談会) 2回 (4回)</p> <p>3 集団資源回収の推進のため、新聞紙、ダンボール、生きびん等資源物の回収を行うPTAや自治会等の団体に対し、その回収量に応じた報奨金を交付した。年々回収量が減っていることが課題である。 参加団体 36 (43) 回収量 337,687kg (418,734kg) びん 748本 (1,057本)</p> <p>4 市内各所で集積所から資源物の持ち去りが多発していることから、資源物持ち去り防止パトロール（有料粗大ごみ納付券未貼付状況確認パトロール含む）を9回行った。持ち去り犯人確保件数 1件</p> <p>5 市報、市HP、チラシ等によるごみ分別アプリの普及を行った。 ごみ分別アプリダウンロード数 11,095件 日本語版 11,586件 (6,300件) 外国語版 274件 (168件) 計11,312件 (6,468件)</p> <p>6 粗大ごみの一部有料化に伴う電話受付や粗大ごみ処理手数料納付券の発行事務を行った。 令和3年度は、受付を不要とし事務の効率化を図る。受付件数 3,007件</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	環境学習講座参加者数は、目標未達成である。今後は、コロナ対策を踏まえ目標値を再設定し、参加者数の向上に努める。
中長期的方向性	1人1日当たりの生活系ごみの排出量及びリサイクル率（焼却灰リサイクル含む）は、目標未達成であるため、引き続き環境センター見学会、環境学習講座、出前講座、エコラボフェスタ及びフリーマーケットを開催するなかでごみの減量及び分別の周知に努める。
継続	また、市報、市HP、ごみ分別アプリ、チラシ等を最大限活用し、各事務事業の成果が上がるような宣伝に努める。

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		エコパ管理運営事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20 循環型社会 ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費		
所管部課		市民活動推進部 環境課（環境センター）	評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日～	評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	余熱利用施設エコパの適正な管理・運営を図る。		
	事務事業の経緯	平成28年10月31日から新環境センターへ移行した際に、旧広域ごみ処理施設建設室から業務を引継ぎ、平成29年度からエコパに関わる事業として独立の事業となった。		
	事務事業の概要	余熱利用施設エコパの管理・運営のモニタリングの実施をする。		
	令和2年度の主な取組	エコパのモニタリングを毎月実施し、管理・運営状況を確認するとともに、モニタリングの機会を通じて連絡・調整を図るとともに、必要に応じて業務内容の改善、指導を行なった。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月1日から令和2年6月8日まで休館し、再開後も受入人数及び利用可能施設を制限して運営した。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.60	0.70
		人件費	5,585	4,835	5,640
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.20	0.10	0.20
	人件費	3,338	0	2,475	
人件費計		8,923	4,835	8,115	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	144,077	143,679	147,689	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	133	290	132		
支出合計		149,795	148,804	153,461	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	35,725	35,067	37,536
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		114,070	113,737	115,925	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		997	979	1,012	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	エコパ有料入館者数		
	説明	利用者が多い年代だけではなく、幅広い年代に利用してもらえるように全ての年代が参加できたり楽しめる環境学習講座、コンサート、マジックショーなどの催事や、サイクリングデー、メンズ・レディースデー、地域デーなどの優待日を設定するなど、運営業務事業者と協力して開催し、有料入館者（7歳から59歳まで）の増加を図る。（目標値1.7%/年）		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	3,188	3,242	3,297
	実績値	2,390	2,220	
指標 2	指標名	施設内安全安心の強化		
	説明	本施設は水を使用する場所がメインであり、また利用者も比較的高齢者が多いため、滑りやすい床での転倒事故がないように点検を怠らず管理していくよう運営業務事業者と協力していく。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	高齢者の施設利用者数		
	説明	高齢者の施設利用者数を追加		
活動	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	157,232	157,923	158,631
	実績値	192,431	57,460	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>余熱利用施設エコパ運営は平成26年6月よりふじみのエコウエルズ㈱及びクリーン工房に委託しており、管理運営についてモニタリングを毎月実施している。</p> <p>エコイベント</p> <p>8月 野菜で発電実験教室（4日11人）、ちりめんモンスター（6日25人）</p> <p>9月 船のペパークラフトを作ろう（26日28人）</p> <p>10月 ハーバリウムを作ろう（17日13人）、くるみの亀&amp;ペットボトル風車（24日8人）、</p> <p>11月 テーピーランタンを作ろう（21日24人）、スノードームを作ろう（28日25人）</p> <p>12月 ペットボトルで万華鏡（19日23人）</p> <p>1月 バードコールを作ろう（12日17人）</p> <p>2月 ハーバリウムを作ろう（6日27人）</p> <p>3月 牛乳パックで小物入れろ作ろう（13日12人）</p> <p>3Dメガネの素材で万華鏡を作ろう（27日22人）</p> <p>また、毎週水曜日サイクリングデー、毎週木曜日メンズレディースデー、地域デー、第3金曜日無料開放デーの設定。</p> <p>エコパの年間入館者数</p> <p>平成29年度 211,708人 平成30年度 216,475人 令和元年度194,821人（令和2年3月休館）</p> <p>令和2年度 69,157人（令和2年4月1日から令和2年6月8日休館 令和2年6月9日から利用人数制限及び開館時間短縮を実施）</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	エコパはふじみ野市・三芳町環境センターから発生する熱エネルギーを有効利用するとともに、市民のふれあい、交流及び健康の増進を図る目的で設立された施設であり、平成26年6月1日から令和13年3月31日まで指定管理者に管理運営を委託することになっている。
中長期的方向性	当初1日当たり200人程度の利用者で設計されているところ、現状は1日当たり700人近くの利用者となっている。また、施設の経過から高齢者が利用者の約95%を占めている。若年層の集客を伸ばす事業やサービスのあり方について、モニタリングを通じて指定管理者制度の趣旨を踏まえつつ、指定管理者と検討して行く。
継続	

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		最終処分場管理運営事業		前年度の方向性 廃止	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	20 循環型社会 ー資源循環型社会の構築を一層進めますー			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成5年～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令			
事務事業の内容	事務事業の目的	最終処分場の適正な維持管理を行い、地域住民の安全で快適な住民生活を確保する。			
	事務事業の経緯	旧大井町では、廃棄物の自区内処理の原則に基づき、焼却後の焼却灰を適正に埋立処分をするため、町内に最終処分場を設置し埋立処分を行ってきた。ごみ排出量の減量化及び資源化を推進したことや焼却灰の処理を埋立てからリサイクルに転換したこと、また、最終処分を県外の民間施設に委託したことにより、平成15年度以降は埋立を行っていない。現在は法に基づき施設の維持管理を行っている。			
	事務事業の概要	最終処分場の維持管理については、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水、周辺地下水の水質検査等を実施している。最終処分場の浸出水は、三芳町清掃工場に運搬し同工場内にある排水処理施設で処理している。			
	令和2年度の主な取組	<p>【最終処分場水質検査業務の実施】 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水及び周辺地下水の水質検査を実施した。</p> <p>【最終処分場草刈業務】 最終処分場の適切な管理のため場内及び周囲に生えている草木の伐採を行った。</p>			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.40
		人件費	3,192	3,223	3,223
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,192	3,223	3,223	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	85	84	166	
	委託料	2,720	2,711	3,745	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	25	29	95	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		6,021	6,047	7,229	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,021	6,047	7,229	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		53	52	63	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	水質検査の実施回数		
	説明	水質検査を月1回（項目により年1回）行う必要があるためその回数を指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1	浸出水の処理量 令和2年度 145.00 t（令和元年度 163.14 t）
	2	<p>水質検査概要 &lt;実施場所4地点及び検査項目数&gt;</p> <p>(1) 場内浸出水（浸出水貯留槽） 検査項目数 46項目 （有害物質38項目、生活環境項目7項目、ダイオキシン類）</p> <p>(2) 場外にある観測井戸の地下水 検査項目数 27項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率）</p> <p>(3) 個人宅井戸の地下水 検査項目数 28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類）</p> <p>(4) 榊清水熔断加工センターの地下水 検査項目数 28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類）</p>
	3	<p>水質検査の結果 数値に異常はなく良好な状況である。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	平成28年10月以降、焼却灰（主灰、飛灰）は全量リサイクルしていること、埋立処分先として県外の最終処分場を2箇所（長野県、山形県）確保していること、環境センター第2駐車場及び運動公園を災害廃棄物の仮置場として計画していること等の状況を踏まえると当市の最終処分場の役割は終了しているため、今後は具体的な廃止の方法を検討し早期廃止を目指す。
中長期的方向性	費用対効果等を踏まえた検討が必要なため、施設の現状把握、埼玉県との調整、場合によっては民間業者の支援を受けながらの検討が必要である。
廃止	



# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		収集運搬事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20 循環型社会 ―資源循環型社会の構築を一層進めます―		
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部 環境課（環境センター）	評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成21～	評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。		
	事務事業の経緯	平成28年10月31日よりふじみ野市・三芳町環境センターへ移行したため、平成29年度から上福岡清掃センター時の収集運搬事業の内、一般廃棄物収集運搬、不法投棄及び処理困難物の処分を行う。法令等に基づき、適正な業務の執行が義務付けられている。		
	事務事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集及び運搬する業務を、計画的に実施する。		
	令和2年度の主な取組	令和元年度においても各ごみステーションから資源物やごみの収集・運搬を実施した。また不法投棄や動物の死体を運搬する業務も実施した。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30
		人件費	2,394	2,418
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.10	0.06
	人件費	3,338	0	
人件費計		5,732	2,418	4,893
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	689,966	704,235	715,535
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	0	0	0	
支出合計		692,360	706,653	717,953
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	1,892
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		692,360	704,761	715,913
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		6,052	6,064	6,249

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事故件数		
	説明	家庭系収集作業における事故件数 0（ゼロ）件		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	2	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和2年度 収集運搬事業の実績（2月末まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集世帯数は、延べ575,380世帯</li> <li>・不法投棄の収集回数は、延べ22回</li> <li>・動物死体処理（のら猫等）は、延べ201体（平日）、18体（休日）</li> </ul> <p>業務委託先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物収集運搬業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合</li> <li>・不法投棄処理業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合</li> <li>・動物死体処理業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合</li> </ul> <p>業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物収集運搬業務は、地域別収集カレンダーで決められた地区の決められた種類の資源物やごみをふじみ野市内の約3,700箇所あるごみステーションから、朝8時より収集を開始し、ふじみ野市・三芳町環境センター及び資源物リサイクル業者まで運搬し、小学生が下校する14時頃までになるべく収集を終了する業務。</li> <li>・不法投棄処理業務は、ふじみ野市内に不法投棄されたごみ等を収集しふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。</li> <li>・動物死体処理業務は、のら猫等の死体をふじみ野市内の発見場所まで行ってダンボール等の箱に入れふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。</li> </ul> <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の業務を継続的に実施することで、市民の生活環境保全が維持される。</li> </ul>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	家庭系ごみの収集運搬は、市民の生活環境及び衛生上欠かせないものとなっており、令和2年度においても収集運搬中の安全を優先し、確保しながら事業を実施する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	20 循環型社会 ―資源循環型社会の構築を一層進めます―			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課（環境センター）		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日～		評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、ダイオキシン類対策特別措置法等			
事務事業の内容	事務事業の目的	ふじみ野市・三芳町環境センターの適正な管理・運営を図る。 法の趣旨に準拠し安全で適切な業務の遂行を図る。			
	事務事業の経緯	ふじみ野市・三芳町環境センターの供用開始に伴い、関係法令に基づき適正な管理運営を行う。			
	事務事業の概要	ふじみ野市・三芳町環境センターでの24時間焼却業務や分別・破碎等のリサイクル作業業務を行い、適正なごみ処理の運営を行う。 環境学習や施設見学などを展開し、更なるごみ減量を進める。ごみとして出されたりリサイクル家具や自転車の販売を行う。			
	令和2年度の主な取組	モニタリングを通じてふじみ野市・三芳町環境センターの管理運営の確認、指導を行う。 可能な範囲ではあるが管理・啓発棟での環境学習講座や市内の小学生の見学を実施した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.90	1.70	1.90
		人件費	15,159	13,697	15,309
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.27	1.00	0.90
	人件費	3,338	2,475	2,475	
人件費計		18,497	16,172	17,784	
事業費	報酬※	0	2,298	2,475	
	賃金※	3,142	0	0	
	需用費	500	1,202	462	
	委託料	510,464	512,062	514,803	
	使用料及び賃借料	66	51	120	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	20,451	11,007	9,359	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	2,347	1,907	1,965		
支出合計		552,129	542,224	544,493	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	97,779	198,693	197,563
		分担金・負担金	101,846	60,424	66,800
		地方債	0	0	0
		基金	30,833	30,556	32,642
		その他	131,440	129,963	110,056
一般財源		190,231	122,588	137,432	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,663	1,055	1,200	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	環境センター運営モニタリング業務		
	説明	ふじみ野市・三芳町環境センターの運営モニタリングを実施し、運営業務内容の確認及び充実を図り、結果を報告		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標 2	指標名	環境啓発事業の1月あたりのコマ数		
	説明	管理啓発棟を軸とした環境啓発事業を実施		
活動	単位	コマ		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	2.00	2.00	2.00
	実績値	1.75	1.33	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	50	0	0
	実績値	0	0	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営：平成28年10月31日より（業務はふじみのエコウェルズ㈱に委託）</li> <li>・職員数：53人（内、管理部門7人、本部6人、熱回収部門23人、リサイクル部門17人）</li> <li>・熱回収施設（可燃ごみ焼却施設）              運転期間：年365日、24時間体制              焼却処理1号炉（285日、18,340 t）2号炉（278日、17,853 t） 1月末まで実績2.3月は予想              排ガス監視体制：NOx、SOx、CO、HCL、Hg、ばいじんについて常時測定（国の定める基準より厳しい値で自主管理値を設定）、ダイオキシン類を定期測定</li> <li>・リサイクルセンター（資源物等中間処理施設）              内部処理：不燃ごみ → 破碎・選別（焼却、埋め立て、アルミ再資源化、鉄資源化）              容器包装プラスチック → スtockヤードで保管              容器包装以外プラスチック → 破碎後Stockヤードで保管、積み替え              飲料かん → 磁力選別後、圧縮保管              ペットボトル → Stockヤードで保管              その他資源 → 自己搬入等のごみ選別後については品目ごとに保管）</li> <li>・管理啓発棟（令和2年3月1日から令和2年6月8日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館）              会館日時：8時30分～17時（火～土曜日）              併設のリサイクル工房は9時～16時              年始1/1～1/3は休館              2階 多目的室1, 2, 3              3階 研修室              リサイクル工房：リサイクル家具販売（常設販売）、リサイクル自転車（毎月第3土曜日に抽選）</li> </ul>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市内及び三芳町内から発生したもやすぐみの処理（熱回収施設）や、もやさないごみ等の処理（リサイクル施設）を適切に行うことは、市民サービスに直結する業務であるため継続して実施する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		資源物等運搬処分事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20 循環型社会 ―資源循環型社会の構築を一層進めます―		
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部 環境課（環境センター）	評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日～	評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、家電リサイクル法、容器包装リサイクル法、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。		
	事務事業の経緯	一般廃棄物収集運搬、資源物処理、運搬、不燃物処分に伴う業務を行っている。法令に基づき、適正な業務の執行が義務づけられている。		
	事務事業の概要	資源物の再資源化及び不燃物の処理を行う。		
	令和2年度の主な取組	資源物の再資源化及び不燃物の処理にかかる事務手続（契約事務、データ処理、月々の支払い・請求、事業者との調整など）を行った。また、処理委託している事業者の現地確認を実施した。小型家電の処理が逆有償となったことから、その処理について見直しを行った。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	1.10
		人件費	8,776	8,863
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.20	0.10
	人件費	3,338	0	
人件費計		12,114	8,863	11,338
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	238	239	245
	委託料	269,773	283,061	319,916
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	278	232	401	
支出合計		279,064	292,395	329,425
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	88,897	90,204
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	197
一般財源		190,167	201,994	227,695
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,662	1,738	1,988

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事故件数		
	説明	場内作業における事故件数 1件 ※令和2年6月18日13時10分頃フォークリフトと選別作業員の接触事故（右足人差指、中指、小指骨折）		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	1	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和元年度 資源物等運搬処分事業の実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチック、びん類の処分を容器包装リサイクル協会へ委託する手続きを行った。また、プラ保管事業者については前年評価結果を基に選定した。</li> <li>・処分事業者については、実際に処理場に赴いて現地確認を行い、処理状況の把握や現状の聞き取りを行った。なお、廃棄物処理法に規定される現地確認の必要のない事業者についても実施した。</li> </ul> <p>業務委託先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却灰リサイクル業務 太平洋セメント(株)</li> <li>・ばいじんリサイクル業務 太平洋セメント(株)</li> <li>・焼却灰運搬業務 (株)協和清掃運輸</li> <li>・ばいじん運搬業務 新井運送(株)</li> <li>・焼却残渣運搬・処分業務 ジークライト(株)、飯山陸送(株)</li> <li>・ばいじん運搬・処分業務 ジークライト(株)</li> <li>・容器包装プラスチック類ベール化処理業務 (有)太盛</li> <li>・容器包装プラスチック類ベール化処理業務 (株)スガワラ</li> <li>・容器包装以外プラスチックリサイクル処理業務 (有)太盛 (株)関商店、サンエコサーマル(株)</li> <li>・びん選別等業務委託 ふじみ野市資源リサイクル協同組合</li> <li>・不燃物（ガラス・せともの等）運搬業務 (株)協和清掃運輸</li> <li>・不燃物（ガラス・せともの等）処理業務 埼玉県環境整備センター</li> <li>・廃蛍光管運搬・処理・再生業務委託 (株)ウム・ヴェルト・ジャパン</li> <li>・廃タイヤ運搬・処理・再生業務 (株)国分商会</li> <li>・廃乾電池運搬・処理・再生業務 野村興産(株)</li> </ul> <p>効果</p> <p>ふじみ野市内及び三芳町内から発生した資源物等の適正処理の確認と目標としているリサイクル率に達成した。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	資源物等は委託業者が適正な処理を行っているか、現地確認する。 もやすごみについては、ふじみ野市・三芳町環境センター熱回収施設で焼却処理され、主灰と飛灰及び焼却残渣（磁選物、不適物）になっている。 主灰と飛灰については、太平洋セメント熊谷工場でリサイクル（セメントの原料）されており、最終処分（埋立）するのではなく今後についてもリサイクル（セメントの原料）となるように継続して委託する。
中長期的方向性	焼却残渣（磁選物、不適物）については、県外の民間最終処分場に埋立処分しており、少なくとも毎年1回は現地確認する。
継続	また、委託先の評価を行い、適正処理可能業者のなかから費用対効果の高い事業者を選定する。

# 令和2年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		旧上福岡清掃センター跡地管理事務		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	20 循環型社会 ―資源循環型社会の構築を一層進めます―			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課（環境センター）		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成31年4月1日～		評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	保管庫（1棟）と雨水流出抑制施設の適正管理。			
	事務事業の経緯	旧上福岡清掃センター解体後の跡地の有効利用に伴い、駐車場（70台）及び保管庫（1棟）と雨水流出抑制施設を設置し維持管理を行っていく。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水流出抑制施設の排水ポンプや貯留槽の維持管理を行う。</li> <li>雨水貯留槽の水質検査を行う。</li> <li>環境センター第2駐車場等の維持管理を行う。</li> </ul>			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水流出抑制施設の排水ポンプ等の点検及び清掃を実施した。</li> <li>雨水貯留槽の水質検査を実施した。</li> <li>消防設備保守点検を実施した。</li> <li>場内の除草業務を実施した。</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.20
		人件費	2,394	2,418	1,612
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.10	0.06	0.00
	人件費	3,338	0	2,475	
人件費計		5,732	2,418	4,087	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	407	445	536	
	委託料	798	1,006	1,250	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	257	248	259		
支出合計		3,856	4,116	3,657	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,856	4,116	3,657	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		34	35	32	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	雨水流出抑制施設の適正管理		
	説明	雨水流出抑制施設の排水ポンプを、確実に運用するために点検を行う。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	1	1
	実績値	1	1	1
指標 2	指標名	雨水貯留槽の安全管理のため貯留水の水質検査を行う。		
	説明	雨水貯留槽の安全管理のため水質検査を行う。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	1	1
	実績値	1	1	1
指標 3	指標名	事故件数		
	説明	環境センター第2駐車場内での車両事故件数 0（ゼロ）件。		
成果	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	0

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貯留槽水質検査業務委託（ダイオキシン類、重金属溶出試験等）令和3年2月9日サンプリング 受託者 エヌエス環境(株)東京支社</li> <li>・ 雨水貯留槽清掃等業務委託（令和2年6月3日実施） 受託者 (株)協和清掃運輸</li> <li>・ ポンプ設備点検・清掃業務委託（令和2年12月8日実施） 受託者 鶴見製作所</li> <li>・ 消防設備保守点検業務（1回目・・・令和2年7月17日、2回目・・・令和3年1月22日実施） 受託者（有）協同防災設備</li> <li>・ 場内除草清掃等業務（令和2年12月7日～12月10日実施） 受託者 公益社団法人 入間東部シルバー人材センター</li> </ul>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	雨水流出抑制施設の雨水は福岡江川に排出されることから、施設の維持管理と排出抑制について、適正な状態を維持して行く。
中長期的方向性	
継続	